

「夢を育み、感動・笑顔・歌声あふれる学校」



学校教育目標

おおらかで たくましく
進んで学ぶ子
地域とともに生きる子



新座市立東野小学校

令和6年 5月 1日 (水)

TEL: 479-7280 ホームページ

FAX: 482-6794 QRコード



やる気・元気・勇氣そして本気

校長 齋藤 伸一

桜の開花が今年は例年より遅かったのですが、桜も散って若葉となり、新緑がまぶしいさわやかな季節になりました。今日から5月。春が終わり、気温が高くなって、いよいよ初夏、夏の始まりとなり、心地よい風が感じられる季節でもあります。

さて、日本には春、夏、秋、冬と四つの季節、四季があります。日本に住んでいると、四季を感じることによって、心も身体も生き生きしてきます。四季を繊細に感じられる感覚や、そこから感じられる風情や趣などを大切にできる心が養われるのではないかと思います。子供たちには、この日本の四季を大切にしてほしいと思います。

そして、もう一つ言葉は一緒ですが漢字が違う「しき」についても、子供たちには大切にしてほしいと思います。それは、「やる気・元気・勇氣・そして本気」という言葉です。どの言葉にも「気」が入っていますので、四つの気、「四気（しき）」となります。私が大切にしている言葉の一つで、校長室の掲示板に大きく掲示しています。まず「やる気」とは、進んで物事を成し遂げようとする前向きな気持ちのことです。「これをやってみよう」「こうなりたい」そんな願いをもってやってみよう、やってやろうと思う気持ちです。「元気」とは、活動の原動力になる気力・気持ちのこと、体の調子がよく健康であることです。日常生活を前向きに生きていくために、とても必要なことです。「勇氣」とは、何事にも恐れず、積極的に物事に立ち向かう心・気持ちのことです。日々成長して変わっていくためには、勇氣が必要だと思います。失敗を恐れずに、勇氣を出してやってみることが大切です。そして「本気」とは、まじめでごまかしのない気持ち、真剣な気持ちのことです。子供たちが何かをするとき、どんなに簡単だと思っても、一つ一つのことに心や気持ちを込めて本気で取り組むことが大切だと思います。



4月の全校朝会で子供たちに話したことは、「目標を立ててそれに向かって行動すること」についてです。新しい学校生活がスタートして希望に満ち溢れている今、その気持ちを大切に、この一年の目標をたて、それに向かって行動してほしいと子供たちに伝えました。

目標があると「やる気」もわいて、「元気」になります。たとえ目標がかなわなくても、何度でも、「勇氣」を出して、目標に向かって「本気」で努力することで、いろいろな力がつき、自分に自信がもてるようになると思います。努力は決して無駄にはなりません。子供たちには、この四つの気「やる気・元気・勇氣・そして本気」を大切に、この一年いろいろな活動に取り組んでほしいと思います。

「1年生を迎える会」

4月26日（金）に「入学してくるのを待っていたよ」「東野小学校では、こんな楽しいことがあるよ」という思いを込めて、2年生から6年生が「1年生を迎える会」を開いてくれました。今年度は、1年生から6年生まで全員が体育館に集合して行いました。2年生から6年生が勉強、給食、清掃、運動、生活全般について、学年の出し物として発表しました。そして1年生は、全員で、上級生にごあいさつができ、「1年生になったら」の替え歌で「1年生になったよ」を元気よく歌いました。最後は全員で校歌を歌い、歌声が体育館いっぱいに響き渡りました。どの学年も練習時間が少ない中での発表でしたが、とても気持ちが伝わってくる心温まる内容の会となりました。

